

放課後子ども教室だよ

富田たのしい教室

令和7年10月2日(木) 訪問

今回は、年中行事の十五夜について学びました！

川俣小学校の1～6年生の子どもたちが登録しています。
この日の活動は「十五夜について学ぼう」です。

普段は3名の協働活動サポーターで運営していますが、今回は、4名のサポーターに協力いただき、日本で古くから慣れ親しまれている年中行事「お月見」を体験しました。

自分たちで団子作りを体験した後、ススキをとりに行ってテーブルに飾り、十五夜の伝統や団子の数などについて話を聞きました。日本に古くから伝わる伝統を地域の方と一緒に体験するよい機会となりました。



【ススキを飾って十五夜の話聞きます】

子どもたちの感想

- ・ 小学校1年生から6年生まで通っています。いろいろな物を作るところが特に楽しいです。以前より人数は減ってしまいましたが、自分たちで工夫して楽しく活動しています。



【まずは、団子粉をまぜます】

ススキは秋の七草で、食べられません。団子の数は決まっています、黄色を一番上に置きます。



【上級生が下級生に虫除けを】



【近くのススキを取りに】



【1年生も丸められるかな】

- ・ 子ども教室が始まってからずっと参加しているスタッフがほとんどです。経験の長いスタッフが揃っているので、登録児童がもっと増えてほしいです。



協働活動リーダー

保護者から話を伺う機会があり、地区の子どもが少ないので、子ども同士で触れ合うことができ大変ありがたいと言っていました。また、親以外の人に接してもらえるのは、子どもにとっても良い経験になるということです。協働活動リーダーの畑智子さんは、アレルギーの情報や帰りのお迎えなど、家庭と連携を密にして運営しており、催しものや普段の活動でも、子どもたちが喜んでくれるのが一番ですと話していました。